

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

学校名	嬉野市立塩田小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>児童の学びと心の成長を支える多面的な取り組みが着実に成果を上げる一方、教職員の働き方改革においてはさらなる課題が顕在化した。次年度は、児童のより良い学習環境と安心できる学校生活の実現を目指すとともに、教職員の働きやすさにも配慮した持続可能な学校運営を目指す。</p> <p>1.学力・主体的学習のさらなる充実…自由進度学習や家庭学習の支援を継続し、児童の主体的な学びを促進する。ICTや生成AIの活用を拡大し、個別最適化された学習環境の整備に努める。</p> <p>2.教職員の業務改善・働き方改革の推進…定時退勤や年次休暇取得の促進を図る。会議時間の見直しやデジタルツールの活用により事務時間の確保を進め、業務の効率化を推進する。</p> <p>3.地域連携・体験活動の推進…児童が地域の伝統や特色に触れ、地域の方々との交流を深め、学校と地域が一体となった教育環境の強化を図る。</p>
2 学校教育目標	元気に がんばる 塩田っ子の育成
3 本年度の重点目標	<p>〇地域・家庭と連携・協働し、総合的に教育力を高める（コミュニティとの活動及び家庭学習・家読の奨励）</p> <p>〇「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（校内研究：小中連携による基礎・基本の定着と主体的・対話的な学びによる問題解決能力の育成）</p>

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	<p>〇全職員による共通理解と共通実践 ・児童が分かる、できると思う授業の充実 ・基礎、基本の徹底</p>	<p>〇「振り返りの活動を通して、授業で学んだことを確認したり、次の授業の準備としてつなげたりすることができた」と回答した児童が80%以上を目指す。</p> <p>〇「自分で計画を立てたり、内容を考えたりして、学習に進んで取り組むことができている」と回答した児童が80%以上を目指す。</p> <p>〇「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点を取り入れた授業を行っている」と回答した職員が90%以上を目指す</p>	<p>・校内で振り返りの視点を統一し、授業の最後には必ず振り返りを行うことを共通理解する。</p> <p>・家庭学習強化週間を設定する。(年2回)</p> <p>・自由進度学習を取り入れた授業を年1回以上実施する。</p>
	<p>〇教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施</p>	<p>〇「タブレット端末を活用できるようになった」と回答した児童が85%以上を目指す。</p> <p>〇「タブレット端末を活用した分かりやすい授業を行うことができた」と回答した職員が85%以上を目指す。</p>	<p>・各学年、年1回以上のプログラミング学習の実施。</p> <p>・児童のキーボード入力のスキルアップを図る。</p> <p>・タブレット端末を効果的に活用した授業の実施。</p>
●心の教育	<p>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</p>	<p>〇アンケートで「学校は道徳など心の教育に積極的に取り組んでいる」と答える保護者が90%以上を目指す。</p>	<p>・全校でのふれあい道徳の実践</p> <p>・道徳の授業について道徳日より、学級通信等で年2回は知らせる。</p>
	<p>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</p>	<p>〇いじめ防止等(いじめの認知・防止のための取り組み・事案対応等)について組織的に対応ができていると回答した職員が90%以上を目指す。</p>	<p>・教育相談週間を、年1回以上実施する。</p> <p>・毎月心のアンケートを実施し、気になる点は児童に聞き取りを行ったり、変容に気を配ったりし、スズキ公務等に記録を残す。</p> <p>・SCによる心の授業を各学年1回ずつ行う。</p> <p>・毎月1回、共通理解の時間を設定し、支援の必要な児童については、共通理解の場で確認する。</p>
	<p>●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。</p>	<p>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上</p> <p>●「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした児童生徒85%以上</p>	<p>・学校生活全体において全職員が、児童の長所やがんばりを認め、褒めるように意識する。</p> <p>・体験活動において児童に活動の見通し、及び学習の振り返りを行う。</p> <p>・キャリアパスポート週間を設定する。</p> <p>・キャリアパスポートを活用し、学年や学期の目標及び振り返りを行う。(年2回)</p>
	<p>〇挨拶・返事の励行</p>	<p>〇アンケートで「地域の方にも挨拶・返事ができている。」と答える児童・保護者が共に85%以上を目指す。</p>	<p>・挨拶の意味を学年に応じて理解させ、挨拶や返事の仕方を具体的に指導する。</p> <p>・委員会活動による挨拶の主体的な取り組みを実践する。</p> <p>・学級懇談会、学級通信等を通して、家庭でも児童が挨拶できるように、保護者に働き掛ける。</p> <p>・登校班チェックカードに「地域の方への挨拶」の項目を入れ、振り返らせる。</p>
●健康・体づくり	<p>●望ましい生活習慣の形成</p>	<p>〇学校評価アンケートで、「早寝・早起き・朝ごはん」が実践できていると答える児童・保護者を共に85%以上を目指す。</p>	<p>・年2回、生活がんばりカードで「早寝・早起き・朝ごはん」をチェックする。</p> <p>・専門家と連携し、SNSやゲーム依存症に関する保健指導を講演会や学級指導などで継続して行う。</p> <p>・「早寝・早起き・朝ごはん(生活習慣)」に関する授業を年1回実践する(担任及び栄養教諭とのTT)。</p>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<p>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</p>	<p>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</p> <p>●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上</p>	<p>・定時退勤推進日(毎週金・第3水)の完全実施(毎回掲示物の提示)。</p> <p>・反省をもとに分掌事務等の分担の見直し(年2回)。</p> <p>・デジタル化の推進</p> <p>・年次休暇取得日数の見える化と計画的な取得のために行事日程の工夫・改善</p>
	<p>〇事務時間の確保</p>	<p>〇会議や打ち合わせの時間の削減を目指す。</p>	<p>・放課後の事務時間確保のために校時表を見直す。</p> <p>・学期末及び年度末事務のための計画的な事務時間の設定(年2回)。</p> <p>・オンライン集会の活用。</p> <p>・職員会議等の提案方法を工夫し、会議時間削減を図る。</p>
●特別支援教育の充実	<p>〇特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上</p>	<p>〇アンケートで「困り感をもつ児童に対してきめ細やかな指導・支援を組織的に行うことができる」と答える職員が90%以上になることをめざす。</p>	<p>・支援を要する児童の情報交換を月1回行い、「共通理解」ファイルに記録を蓄積する。</p> <p>・特別支援教育に関する研修会を年2回以上開く。</p> <p>・保護者に対して啓発活動を年1回以上行う。</p> <p>・特別支援についての啓発活動を各学年1回以上行う。</p>
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
〇地域連携の推進	<p>〇コミュニティとの活動の推進と充実</p>	<p>〇アンケートで、地域の良さを見つけることができた」と答える児童及び、学校は体験活動の充実に向けてと答えた保護者を共に85%以上を目指す。</p>	<p>・各学年で、外部(地域の老人会等)や地域ボランティアと連携した学習活動を2回以上行う。</p> <p>・事後指導では、(発表会、感想などの手紙での交流)だけでなく、地域の良さに気付くような手立てを意識して活動を行う。</p>

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育